

発刊にあたって

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、5月から「五類相当」へ引き下げられ、経済活動も平常へと向かいつつあります。県内経済も、小売・宿泊・旅行は前年を上回って推移しており、総じて景気は持ち直し傾向にあります。

一方、連合が4月13日に公表した「2023春季生活闘争第4回回答集計結果」によれば、2023年の平均賃上げ率は3.69%と30年ぶりの高さとなりました。県内でも当研究所によるアンケート調査で、「賃上げを実施する(定期昇給、ベースアップ、手当変更・新設の少なくとも1つ以上)」比率は83.5%と高くなっています。賃金上昇で人材を惹きつけ、人への投資による生産性向上が賃金上昇の原資となり「構造的賃上げ」につながり、物価上昇や人手不足の緩和となることを期待しています。

さて「徳島県の経済と産業(2023年版)」は、地域の自然環境や社会環境、経済・産業の構造や特色、県民の暮らしなども含めて、最新のデータを織り込み、近年の徳島県の実情と変化を取りまとめたものです。一部項目を統合・追加し、よりわかりやすいものになるよう努めました。徳島県の現状や特徴・特色を概観し、今後の地域や企業経営を展望するうえで参考書として、活用していただければ幸いです。

今回の表紙は、フレッシュな徳島の農産物をイメージしてデザインしました。美味しい新鮮な野菜を産み出す県内農業は、逸品も多く、これからの発展が期待されます。「とくしまマルシェ」でもこうしたこだわりの県産農産物に出会えます。

最後に、この冊子の作成にあたり協力を賜りました関係機関の皆様に、心から厚くお礼申し上げます。

2023年 夏

公益財団法人 徳島経済研究所
理事長 長岡 奨